



陶韻クラブ

第7号



陶韻の春

明けましておめでとうございます。
穏やかなお正月を迎えに
なったことと思います。
昨年の冬は雪が少なかったの
ですが、今年は例年以上の積
雪の多さです。特に津軽地方
は災害級の雪となっていてい
ます。
が、これも夏の猛暑と同様に
地球温暖化の影響があるよう
です。私たち個人が出来うる
範囲の温暖化対策をしつつ、
自然に順応して生きて行かな
ければと考えます。

さて、昨年の陶韻クラブの活動は、ジャパンデー、新入会員歓迎会に始まり初めての試みとして社協まつりへのチャリティー参加を行いました。さらに、ふれあいの旅が5年振りに行われるなど、停滞していた活動がコロナ前に戻ってきています。

そして今年は、創立四十五周年の年です。
会員数が減少している中で記念行事を行うには、個人への負担が増えますが、やはり、出来る範囲、規模で行うべきだと考えます。いかがでしょう。皆様のご協力なくしては出来ません。自ら進んで積極的なご意見、実行力が必要です。
4月の総会でいろいろ話し合いを持ちたいと思います。

三沢ペンクラブ45周年祝賀会参加

11月30日（土） ホテルグランヒルつたやで「三沢ペンクラブ」の創立45周年記念祝賀会が行われました。
陶韻クラブからは伊藤代表、伊藤源吾副代表、山本事務局

長が来賓として出席しました。



※記念撮影の様子

祝賀会は、初めに全員による記念撮影があり、栗澤会長の挨拶、来賓祝辞、フルートやバイオリンの記念演奏と続き、元クラブ員の山上さんなどと日交を温めました。



忘年会

昨年の忘年会は、12月21日（土）「魚らく」において参加者18名で行いました。
今回は、クラブ員の要望である椅子に座れる宴会場を予約することができました。席次を決めず自由に座っていたいたところ、きつちりと男女に分かれてしまいました。しかし座は盛り上がり、みんな忘年会を楽しんで頂いたよう満足しております。



宴席での紹介を忘れてしまいました。が栗澤顧問からご芳志をいただいております。
また四木さんにはビンゴゲームの景品を準備してもらいました。

いつも積極的に会への奉仕活動をしていただき感謝します。



今後の予定

お楽しみ会の希望調査

今年度の陶芸教室が終了し次年度開始される2月から5月までの間に「お楽しみ会」と称し「粘土を普段は違うものに変える」「テーマを決めて全員が制作する」など行ってきました。
過去には、モグサ土の志野焼、土鍋粘土による土鍋作り、縄文土器、急須の制作落款印作成など行ってきました。
やってみたい制作があれば1月末までに意見をください